

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
**優良和薬の確保・供給のための研究
キックオフシンポジウム**

日時: 11月12日(木) 15:30~18:10
会場: 京都薬科大学 A21講義室(愛学館2階)

- 15:30~15:35 **開会挨拶**
後藤 直正(京都薬科大学・副学長)
- 15:35~15:45 **プロジェクトの概要について**
- 15:45~16:10 **アマチャの新規生体機能**
松田 久司(研究代表者、生薬学分野・教授)
- 16:10~16:35 **高血圧の非薬物療法**
中田 徹男(臨床薬理学分野・教授)
- 16:35~17:00 **頻用生薬の優良品種選抜にむけた機能性成分の探索
—サイコ・センキュウ・チョウトウコウ—**
森川 敏生(近畿大学薬学総合研究所・教授)
- 17:00~17:10 **休憩**
- 17:10~18:10 **特別講演**
変化した食品の機能性表示と次世代機能性研究
日野 明寛(日本製粉㈱中央研究所副所長、新潟大学客員教授、
(独)農業・食品産業技術総合研究機構フェロー)
- 18:10 **閉会**

プロジェクトの概要

漢方薬の原料生薬は8割以上を中国に依存していますが、生産・供給不足と価格の急激な上昇によって、低品質のものが流通しています。このような背景のもと、日本での優良品種の栽培、生産が急務となっていますが、優良品種の現代科学的根拠が曖昧なままとなっています。本プロジェクトでは、漢方薬の重要な構成生薬である当帰や柴胡、日本民間薬の甘茶、延命草など日本産生薬(和薬)の基原植物の栽培、薬理作用、メタボローム解析、有効成分群の解明を行うことによって、優良生薬の生産を目的とした優良品種の選別と情報提供を目指しています。

〒607-8412 京都市山科区御陵四丁野町1
京都薬科大学生薬学分野 松田久司
TEL. 075-595-4633, 4634 FAX. 075-595-4768
E-mail: matsuda@mb.kyoto-phu.ac.jp



薬学の未来をつくる

京都薬科大学

KYOTO PHARMACEUTICAL UNIVERSITY